



短冊に願いを込めて！ 山口区で七夕かざり作りが行われました。(7/9)

自らの命は自ら守る、自らの地域は皆で守る。

九月一日は総合防災訓練の日です！

自主防活動に 参加しましょう！

大規模な地震が発生した場合、各地域においては建物の倒壊、火災の発生、水道や消火設備・道路の損壊など被害が広範囲に広がることを考えられ、国・県・町等行政の対応だけではおのずと限界があります。その時、適切な対応を取るためには、町民一人ひとりが日頃から「自らの命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」という防災の基本に立って、自主防災組織に参加し、地域の防災活動に取り組んでいくことが重要です。



プロジェクト『TトOUウKAIカIイ』（東海・倒壊）—ゼロ』
阪神・淡路大震災で亡くなった方の8割以上は家屋の倒壊によるものでした。予想される東海地震から一人でも多くの人の生命を守るため、県と町は一体になってプロジェクト「TOUKAIO」を進めています。

あなたの家は大丈夫？

わが家の専門家診断で
まずは自分の家の耐震性
を知りましょう

町では倒壊のおそれの高い昭和五十六年五月以前に建築された木造住宅を対象に専門家による無料診断を行っています。契約などの複雑な手続きはありません。電話一本で簡単に申し込みが出来ますのでお気軽にお申し込みください。

※注意 県や町から申し込みのない方のお宅への専門家を派遣することは一切ありません。

せん。

倒壊の危険性のある建物は耐震補強を！

専門家診断の結果、耐震補強が必要と診断された木造住宅を耐震補強工事（筋かいや合板による補強など）する場合補助が受けられます。

【対象】 わが家の専門家診断の結果が一・〇未満の木造住宅

【対象工事】 耐震補強計画により、補強後の耐震評点が一・〇以上に

なる工事。ただし、耐震評点が〇・三以上あがる耐震補強工事に限ります。

【補助額】 一棟当り三十万円（高齢者等のみ居住する住宅については五十万円）を限度。
*補助金の申請は必ず工事契約前に行ってください。
*平成十八年度より耐震補強工事で税金の特例が受けられます。

詳細については、役場産業建設課（電話四二―三九六五）までお問い合わせください。

家具は固定されて
いますか？

どんなに建物を丈夫にしても、タンスや食器棚などが倒れてケガをしてはなんの意味もありません。家具はしっかりと止め、高いところに物を置かないなど、家族からケガ人を出さないようにしてください。

町では、震災時、住宅内での家具の転倒による被害を防止又は軽減するため、町内の専門知識を有する方（大工・建具職等）が施工した家具などの固定に要する経費に補助金を支給しています。

【補助内容】
◎災害時要援護者世帯
かかった経費の三分の二以内（限度額八千円）
◎一般世帯
かかった経費の二分の一以内（限度額は六千円）
*事前に申請が必要です。

詳細については役場総務課広報防災係（電話 四二―三九六三）までお問い合わせください。

東海地震に関連する情報

東海地震に関する情報は、次の3段階に分かれております。県や町の広報やテレビ・ラジオ等を通じて住民に伝えられます。

危険度	情報名	防災機関の対応	家庭では・・・
	東海地震観測情報 東海地域の観測データに異常が現れたり、特異な地震が起きたりしているが、東海地震とは関連性がないと判断できる場合や、しばらくの間変化の様子を見守る必要がある場合	○国や自治体では情報連絡体制がとられます。	テレビ、ラジオ等の情報に注意し平常どおりお過ごしください。
	東海地震注意情報 東海地震の前兆現象が起きている可能性が高いと認められた場合	○東海地震に対処するため、以下のような防災の準備行動がとられます。 ・必要に応じ、児童・生徒の帰宅等の安全確保対策が行われます。 ・救助部隊、救急部隊、消火部隊、医療関係者等の派遣準備が行われます。 ○気象庁において東海地震につながるかを検討する判定会が開催されます。	テレビ、ラジオ等の情報に注意し、町からの呼びかけに従って行動してください。 ・不要不急の旅行や出張自粛 ・家具等の固定の再点検 ・非常持出品の再点検 地震発生時に冷静な行動がとれるよう準備してください。
東海地震予知情報 東海地震が発生するおそれがあると認められた場合	○「警戒宣言」が発令されます。 ○地震災害警戒本部が設置されます。 ○津波やがけ崩れの危険区域からの住民避難や交通規制などが実施されます。	テレビ、ラジオ等の情報に注意し、十分に警戒して地震の発生に備えてください。 津波や山崩れ等危険予想地域に住んでいる方は避難をしてください。	

各発表後、東海地震発生のおそれがなくなると判断された場合は、その旨の各情報が発表されます。

(例)飲料水を確保するには

18ℓを2個つなげると4人家族の3日分



非常持出品は、避難時にすぐに取り出せる場所に保管し家族の人数に合わせて用意してください。当面暮らせるだけの食料・飲料水・日用品・貴重品等を準備しておきましょう。大地震が発生した場合、道路や水道施設が損壊して使用できなくなることが考えられます。また行政による支援活動も状況によっては、すぐにできるかわかりません。各家庭において7日程度は生活できるように、食料・飲料水の備蓄をしてください。
 食料は非常食3日分を含む7日分、飲料水については、一人一日3リットルを3日分備蓄するようにしてください。

非常持出品の準備はできていますか？

市町村合併推進構想説明会が開催されました

去る七月二十一日（金）環

境改善センターにおいて、県主催による「市町村合併推進構想説明会」が開催されました。合併に対する皆さんの関心も高く、約百二十人の方が出席され、山崎章二・静岡県合併推進室長による「静岡県における市町村合併について」、

川口良子・静岡県合併推進審議会委員による「南伊豆地区の合併について」の説明に熱心に耳を傾けていました。



また、説明終了後に意見交換も行われ、出席者の皆さんから意見や質問が相次ぎました。当日の説明と意見交換の要旨をお知らせします。

説明会から

山崎室長は、昨年度県が実施した財政シミュレーションでは、小規模市町はこれまでの行政運営では将来的に財政が破綻する可能性があるとし、近隣市町が規模を拡大して行政を運営していかねばならない。松崎町は今後も高齢化が進み平成四十一年には二人に一人が六十五歳以上になると推測されており、近隣市町も同様の状況の中、共通の生活圏である賀茂一市五町の枠組みを考えた説明されました。

川口委員からは、国の借金が

増大し、やっつけいけなくなる中で、松崎町がこれまで築き上げてきた地域ごとの良いところを大切にしながら、新しい自治体の枠組みを作り活性化を図っていくことが必要である。また、これからの行政運営は、一定の規模を持ち専門性の高いものにして、効率を図っていかねばならないと説明しました。

意見交換から

Q 合併を進める前提として道路網の整備をお願いしたい。

A 地域支援策として道路整備も検討項目となっております。

Q 「伊豆はひとつ」という言葉があるが、財政力の無い市町同士が合併しても期

待できない中で、県は伊豆半島全域での合併について

どう考えているか。

A 将来的には伊豆全域での合併も考えるようになるかもしれないが、現在の合併新法の中で可能性のある一市五町の枠組みを考えている。

Q 借金の多い市町と合併すると個人負担が増えるのではないか。

A 借金が多いということはそれだけ社会基盤が整備されていることであり、合併した場合には他の地域の整備が進むと考えていただきたい。

Q 前回の合併の際には合併後十年間は交付税等が保障されるなどの優遇措置があったが、今回の合併新法ではどのようになっているか。

A 優遇制度はあるが、前回は無い。しかし、合併した年が早いほど有利な財政支援となっています。

【南伊豆地区の現況について】

当地域では、五月に南伊豆地区六市町の合併の可能性を探る「南伊豆地区合併調査委員会」を設立し、合併に必要な調査研究や連絡調整検討に関することについて協議を進めております。

「静岡県市町村合併推進構想」、「新静岡県市町村合併支援プラン」等、構想に関する資料等をご覧になりたい方は左記の静岡県ホームページからダウンロードできますのでご利用ください。

<http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/sm-12/>

<http://www.pref.shizuoka.jp/soumu/sm-12/>

『ウエルネスまつぎき』

住民の健康増進に効果大！

活動報告

昨年度末に設立されました
しずおか型地域スポーツクラ
ブ「ウエルネスまつぎき」の
活動が人気を呼んでいます。
グラウンドゴルフやミニテニ
ス、水中エアロビクス、ヨガ
ボールや太極拳、チビッコ向
けのサッカー教室や野球教室
等を開催しました。

多年代の多くの方が参加し、



グラウンドゴルフ

健康増進・生きがい作りに
関心があることが感じられ
ました。特に太極拳やヨガ
ボールなどは自宅でも出来る
気軽さからか、各教室四十か
ら五十人が参加しており、講
師もやりがいを感じておりま
した。今後も参加者の意見を
取り入れ、また、住民の皆様
の要望などにお答えできるよ
う多種多様なスポーツを用意
する予定です。希望がありま
したら遠慮なく申し出てくだ



太極拳

さい。

今後もボクササイズ・ドッ
チビー（ソフトなフライング
ディスクでのドッジボール）
大会、親子で参加チビッコス
ポーツ大会、健康自慢体力テ
スト大会などのイベントを予
定しております。詳細はその
都度回覧等でご案内いたしま
す。

参加希望・要望は
教育委員会事務局

（四二―三九七一）まで

『ウエルネス』とは

「疾病の有無にかかわらず、
生きがいを持ってよりよい人
生を送るために、自分自身を
高めようという、前向きな考
え方、生き方」を意味します。
病気になるってから医師に依存
するのではなく病気になるに

くい身体を造るセルフケア（自
己管理）の姿勢です。
「自分の人生に責任を持ち、
より幸福で充実した人生を送
るために現在の生活習慣を見

直し改善していくこと」この
お手伝いをすべく「ウエルネ
スまつぎき」は設立されまし
た。



太極拳

生涯学習 ソフトボール春季大会

五月十八日に開幕した生涯学習ソフトボール春季大会は、十七チームが参加し、三部リーグで熱戦が繰り広げられました。

六月二十一日に環境センター文化ホールで表彰式が行われました。各リーグのチーム成績は次のとおりです。



五連覇の船田チーム

◎一部リーグ

- 一位 船田
- 二位 江奈一・二
- 三位 峰輪
- 四位 道部
- 五位 桜田
- 六位 石部

◎二部リーグ

- 一位 岩地
- 二位 那賀
- 三位 雲見
- 四位 中区
- 五位 江奈三
- 六位 北区

◎三部リーグ

- 一位 西区
- 二位 金沢
- 三位 江奈四
- 四位 宮内
- 五位 山口

子ども会 球技大会 ソフトボール

子ども会球技大会のソフトボールが七月一日に三チームが参加し、町営グラウンドで開催されました。

チーム成績は次のとおりです。

- 一位 岩科ソフトボール
- 二位 中川はやぶさ
- 三位 松崎吉長タイガース



優勝した岩科チーム

松崎文芸

—短歌—

万物を照らしながらに沈む陽に

通りすがりのわれも照らさる

堀岡 洋子

きみからの思ひもかけぬひとことが

前へ前へとわれを押し出す

高橋 百代

何もかも緋色に染まる日暮どき

緋色に染まらずからす羽ばたく

岡村 芳子

浜辺にて作りし幼の砂だんごの

まあるいまあるい心でありたし

端山 きち枝

弁天瀧の下流に螢は乱舞なし

滝つぼめざすか星座のごとし

平野 もみ子

のびやかに伊豆半島を横たへて

遙けき海に漁火揺るる

高橋 栄美

わづかにも春の息吹きが聞こえさう

桜一輪二輪の咲きて

土屋 君子

離れ住む友らとの語り松崎弁が

かるやかに飛びて昔の戻る

山本 智恵子

まちのどきどり

石部温泉 大地曳網まつり

七月二日(日)、石部海岸で第二十三回石部温泉大地曳網まつりが開催され、観光客など五百人余りの行楽客で賑わいました。

参加者は、仕掛けられた網を全員で息を合わせて引き寄せました。

今年は、お目当てのバシヨウイカが大型のものを含め約百五十キロ獲れるなど浜辺は大漁に沸きました。



雲見温泉 無料サザエ祭り

七月十六日(日)、雲見海岸で雲見観光協会主催の無料サザエ祭りが行われ、多くの観光客で賑わいました。

この日はあいにく波が高く、陸上での配布となり楽しみは半減しましたが、詰め掛けた観光客は長蛇の列となり、早速、海岸に用意されたバーベキュー設備でつば焼きにして、海の幸を楽しんでいました。



海洋センター 水泳大会

海の日の七月十七日、第二十二回松崎海洋センター水泳大会が開催され、八十名余りの小学生が出場しました。

大会では、小学校低学年のビート板や、中学年以上の自由形、平泳ぎなど六種目とリレー競技が行われ、プールサイドの父兄や同級生から声援を受けた選手は、日頃の練習の成果を発揮しようと懸命に泳いでいました。



海上安全祈願式が終わって

今年も町内各海水浴場の海開き。海上安全祈願式が終わって夏を迎える準備は出来た。

雲見の海開きは、他の三カ所のそれと違って、雲見海山開きというタイトルである。山というのは浅間山「烏帽子山」である。浅間山は、私達が子供の頃は、夏が近づく七月十五日、松崎港の漁船、運搬船に便乗して参詣したもので、当時は漁業、林産業も活力があり、賑わったものである。

近年、雲見は人気のダイビングスポットでもあるが、西伊豆町では既にダイビングによる死亡事故が発生している。安全祈願の最たるものである。また、松崎海水浴場はジェットスキーのメッカになっている。海水浴場の魚市場側にロープを張って走行区域を指定して

あるが、相当のスピードで走るので、漁船と衝突しないだろうか、仲間同士で事故が起きないだろうかと心配になる。最も心配されるのは子供や女性など海水浴を楽しんでいる大勢の人達に危害が及ばないかである。

今年の夏が平和で楽しい、松崎町の海水浴場であってほしいと祈念した次第です。

松崎町長

深澤 進

町長室からこんにちは ⑤6



21世紀 松崎町三つの実践運動「あいさつ・返事・後しまつ」

町の人口と世帯

(平成18年6月30日現在)
()内は前月比

総人口	8,478人 (-18人)
男	4,037人 (-7人)
女	4,441人 (-11人)
世帯数	3,161戸 (-2戸)
転入	9人
転出	20人
出生	3人
死亡	10人

町の交通事故

平成18年7月15日現在
()内は前年対比

人身事故	19件 (-4)
物損事故	58件 (-3)
死者	0人 (±0)
傷者	29人 (-7)

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
指川	山本加壽子	61	善雄
峰輪	齋藤ふさ	92	貞男
石部	高橋房雄	81	八重子
那賀	近藤四郎	51	江梨奈
北区	萩原初枝	84	悟
宮内	杉山友秋	83	つる江
門野	鈴切のぶよ	86	堀谷八千代
江奈2	石田勝美	75	文代
南区	石浦べん	102	黎子

(6月分) 戸籍だより

おめでとうございます(出生)

地区	氏名	性別	保護者
江奈3	コトハ葉	女	山本健
桜田	セシナ	女	眞野寿基
宮内	リマ	女	加藤聡

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

保健師だより

介護予防事業が 始まります!

四月から介護保険制度が「介護予防」と、「自立支援」を重視したものに変わりました。

今回の基本健診では、六十五歳以上の方に生活機能評価(二十五項目の質問等)を行いました。その結果、運動機能、栄養状態、口腔機能の低下の見られる方は、介護予防事業の対象となります。

運動機能、栄養状態、口腔機能の低下があると、将来的に要介護状態になる可能性が高いと言われており、早めの予防が大切です。

健康福祉課では、秋頃を目安に理学療法士、栄養士、歯科衛生士といった専門家を中心とした予防教室を開催する予定です。教室の対象になる方には基本健診結果説明会においてお知らせし、後日ご連絡いたしますので、積極的にご参加ください。

姉妹都市通信

帯広市から

今年で3回目となるWRCラリージャパン2006が九月一日から三日まで、帯広市とその周りの町で開かれます。WRC(世界ラリー選手権)はラリー競技の世界最高峰で、モンテカルロラリーから始まり世界中で年間十六戦開催されます。

日本(北海道・帯広)での開催は、今年の第十一戦となつていきます。

ヨーロッパをはじめ多数の国から選手や多くの観戦者が帯広市を訪れ、帯広市では市民を挙げて歓迎し、世界の人たちに温かい声援を送ります。

松崎町のみなさんも、世界のラリードライバーの熱い走りを観戦しませんか。

入場チケットなど詳しくは、帯広市役所 観光課(電話〇一五五―二四―四一一)へお問い合わせください。



広報まつやま

二〇〇六年八月一日発行
第五〇七号

〒441-8506 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
☎(055)421-3963 FAX(055)421-3183

発行 静岡県松崎町 編集 総務課
印刷 (株)文寿堂印刷所